

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関する リアルタイムアンケート & 解説

リアルタイムアンケート **結果** 

imakiku

日 時： 令和6年3月12日(火)
18:30~19:45

一般社団法人 岡山県老人保健施設協会
人生の最終段階における医療介護を考える会

解説&進行 担当理事 **藤本 宗平**
(老人保健施設 虹 施設長)

ACPに関するリアルタイムアンケート

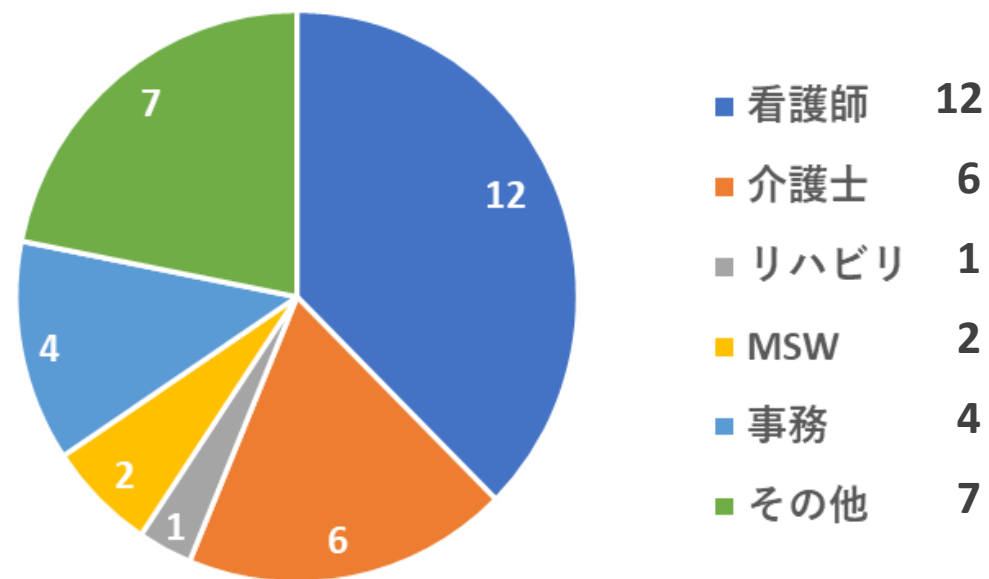
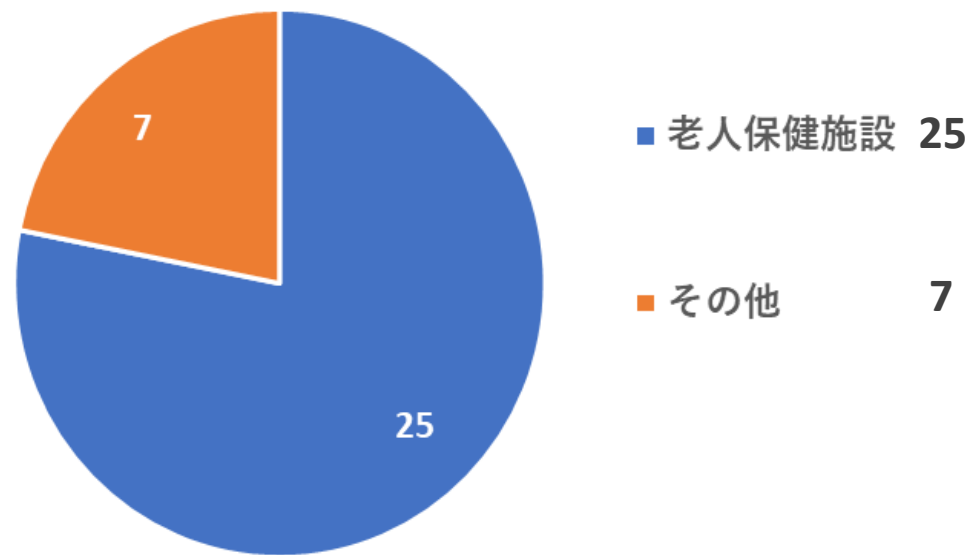
● 参加状況

参加後の状況

利用状況	件数	参加人数に対する割合
参加人数 	32	
本番参加人数	32	100.0%
リハーサル参加人数	0	0.0%
参加者情報登録人数	32	100.0%

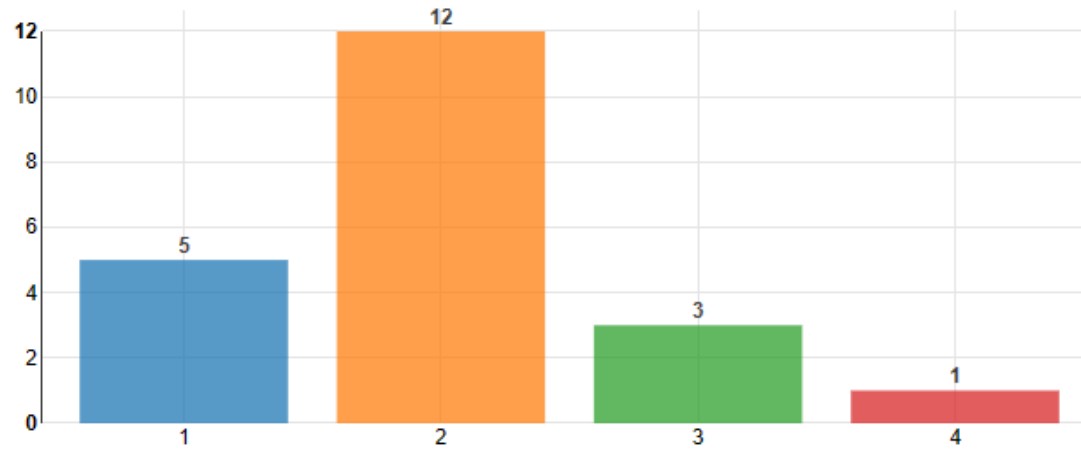
● 参加者情報取得

参加者情報登録件数 32 件



1. ACP（人生会議）を知っていますか？という質問に 問1. ①介護支援専門員で「知らない」と答えたのは何パーセント？

22 21

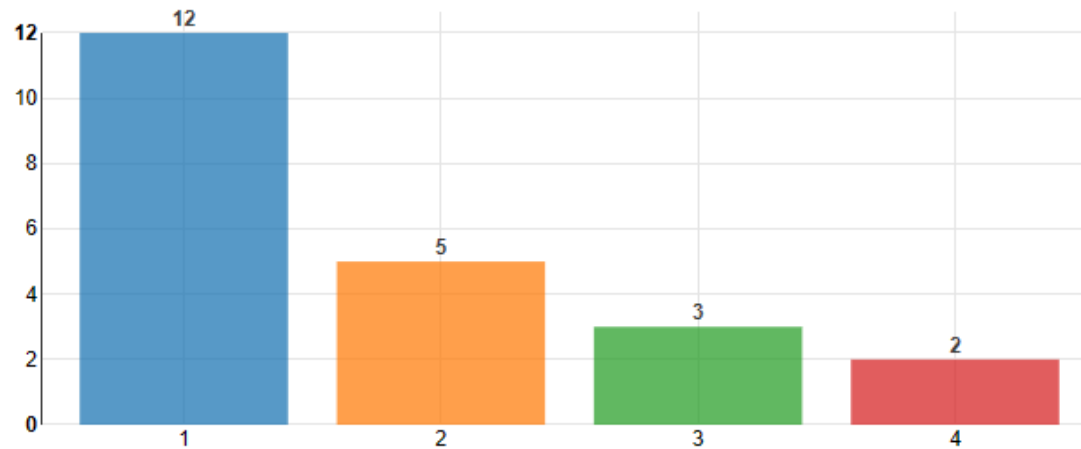


1.11.5%	5
2.25.5%	12
3.33.4%	3
4.43.2%	1

厚生労働省2022年度ACP等の意識調査より ①11.5%が正解
医師・看護師より認知度が高い

2. ACP（人生会議）を知っていますか？という質問に 問1. ②医師で「知らない」と答えたのは何パーセント？

22 22

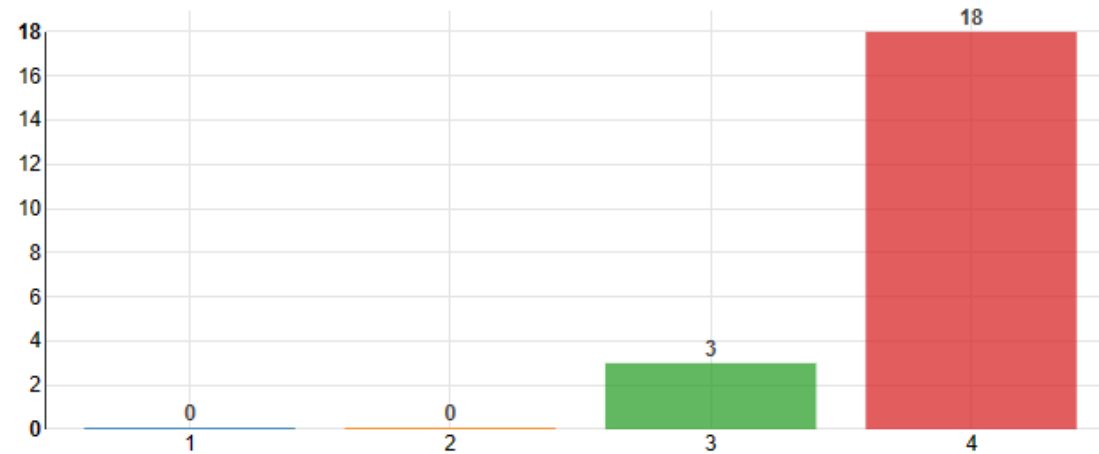


1.24.5%	12
2.37.4%	5
3.44.8%	3
4.51.5%	2

厚生労働省2022年度ACP等の意識調査より ①24.5%が正解
ACPを知らない医師もいる…

3. ACP（人生会議）を知っていますか？という質問に 問1. ③一般国民で「知らない」と答えたのは何パーセント？

22 21

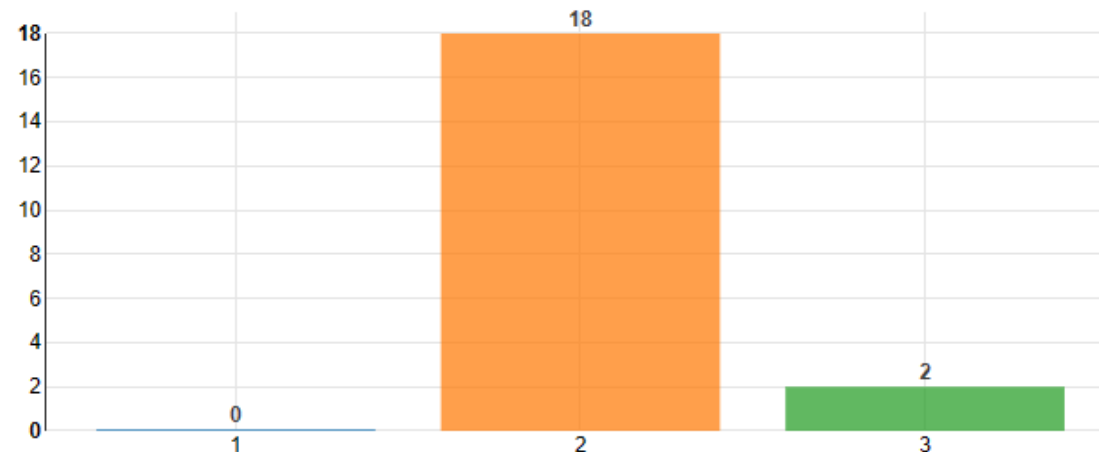


1.35.3%	0
2.48.5%	0
3.62.3%	3
4.72.1%	18

厚生労働省2022年度ACP等の意識調査より ④72.1%が正解
一般的には知られていない…

4. 問2. ACPの概念が導入された「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」が改定され、ACPの愛称を「人生会議」に決定し、11月30日を「人生会議の日」と制定した年は？

23 20

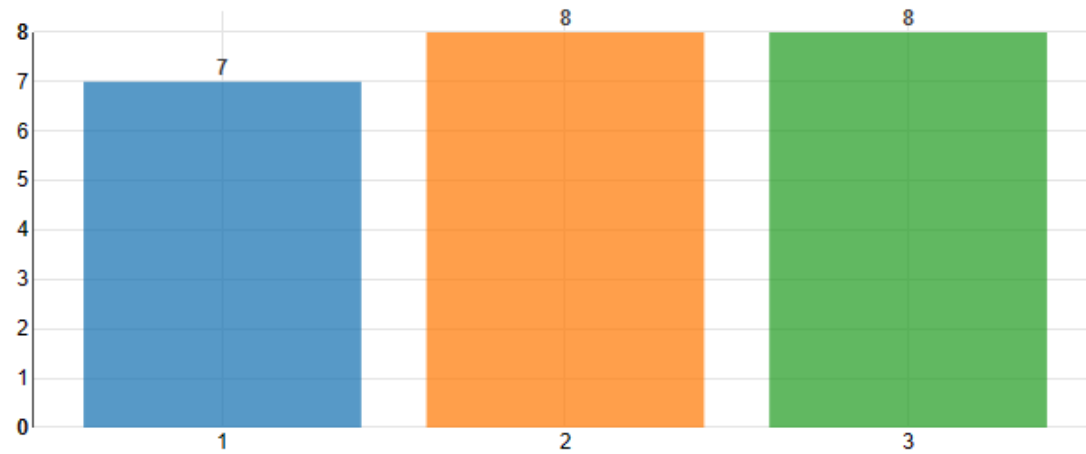


1.2015年	0
2.2018年	18
3.2021年	2

②2018年が正解
まだ6年
もう6年になる

5. 問3. ACP（人生会議）に参加したことがありますか？

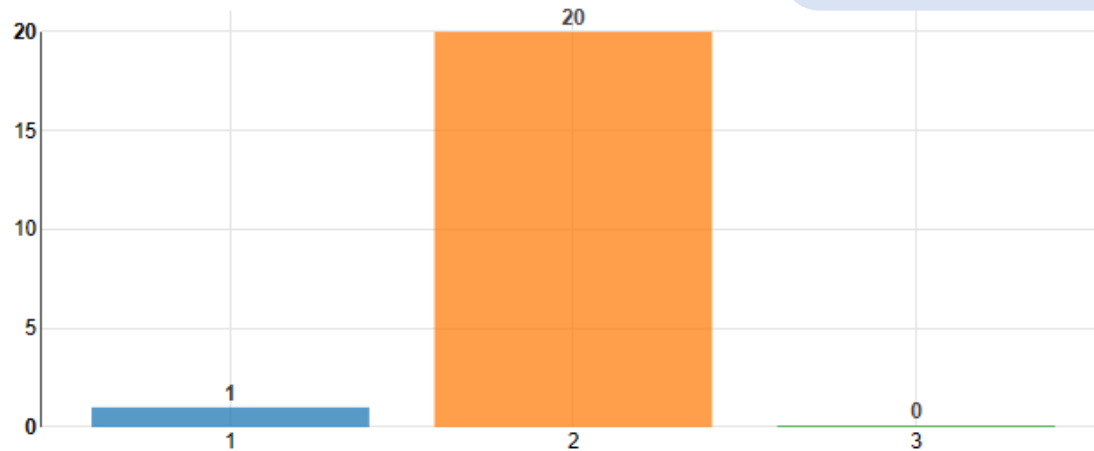
23 23



1.ある	7
2.ない	8
3.参加したいと思っている	8

6. 問4. ACPはDNARを明確にすることが目的だと思いますか？

23 21

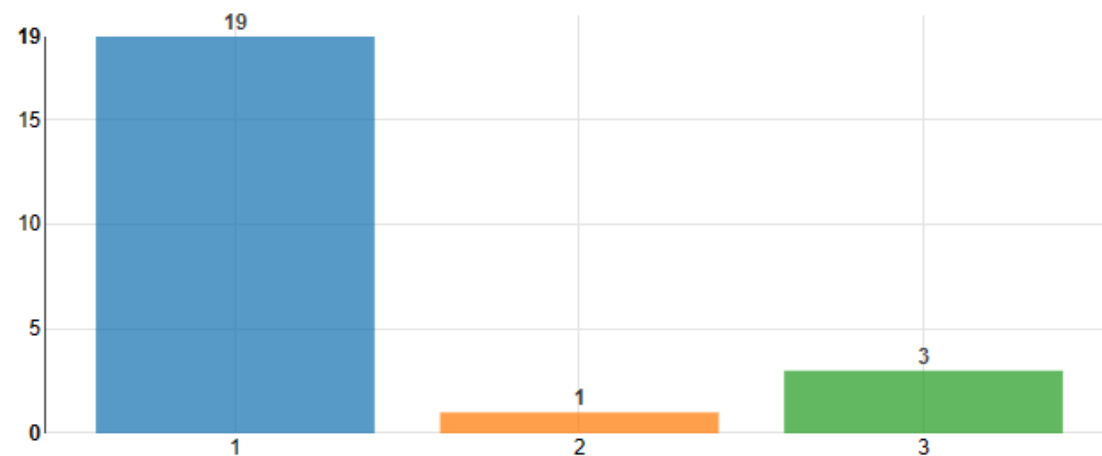


1.はい	1
2.いいえ	20
3.そのようになっている	0

●DNAR（do not attempt resuscitate）とは、患者や家族の希望に基づき、心肺停止となった場合でも心肺蘇生（cardio-pulmonary resuscitation：CPR）を実施しないことを医療者間で共有する指示のこと。

7. 問5. ACPをするにはコミュニケーション能力が重要だと思っている

23 23

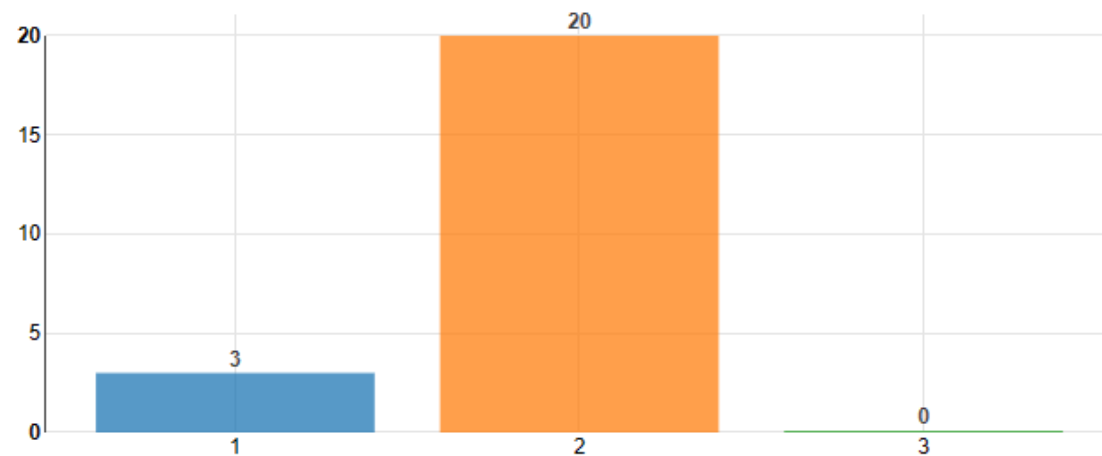


1.はい	19
2.いいえ	1
3.必須ではない	3

重要ではありますが、施設内研修で十分
人生会議に参加することでスキルを学ぶこと
ができるのでは…

8. 問6. ACPにおいて患者と家族で意見の相違があった場合は家族の意見を優先することが多い？

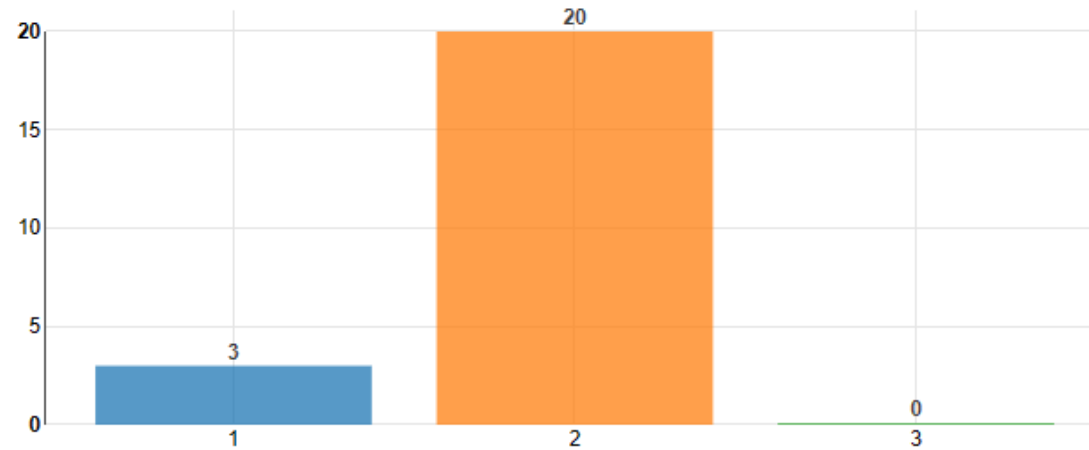
23 23



1.はい	3
2.いいえ	20
3.そのようになっている	0

9. 問7. ACPの内容を、転院先、療養先に伝えたことはありますか？

23 23

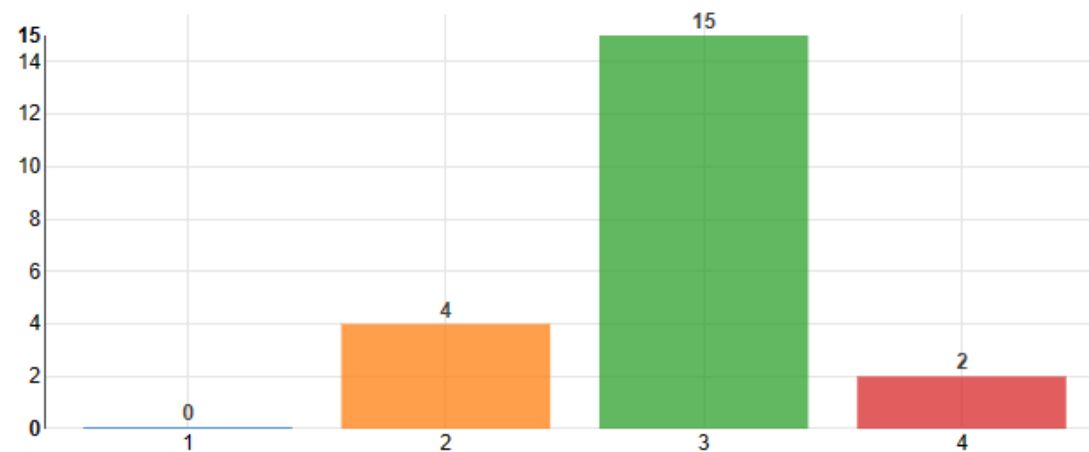


1.ある	3
2.ない	20
3.考えていない	0

連携と情報共有をするにはよいのでは

10. 問8. ACP実施患者はACPの話し合いの通りに療養が出来ているか？

24 21

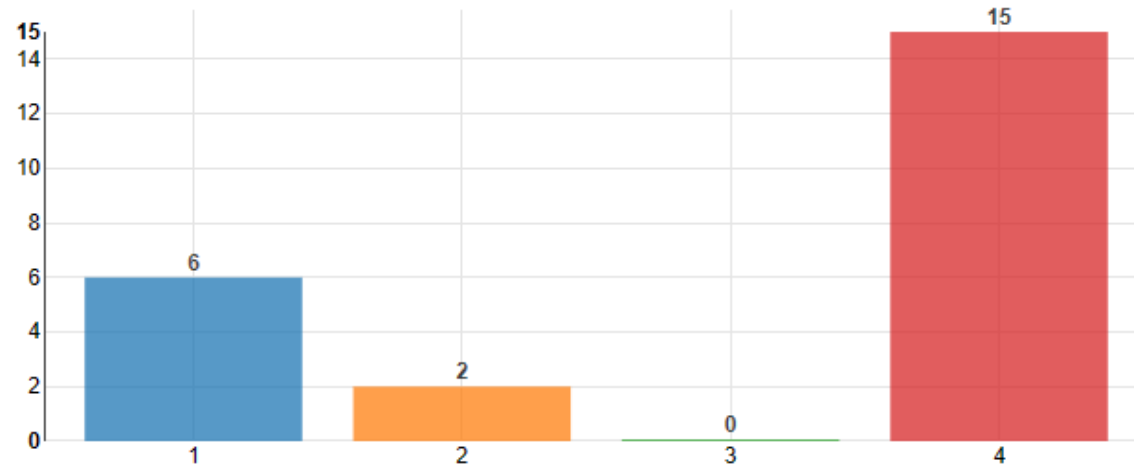


1.できている	0
2.概ねできている	4
3.わずかにできている	15
4.できていない	2

できていない部分に関してなぜなのか検証が必要

11. 問9. 一人の患者にACPを何回開催したことがありますか？

25 23

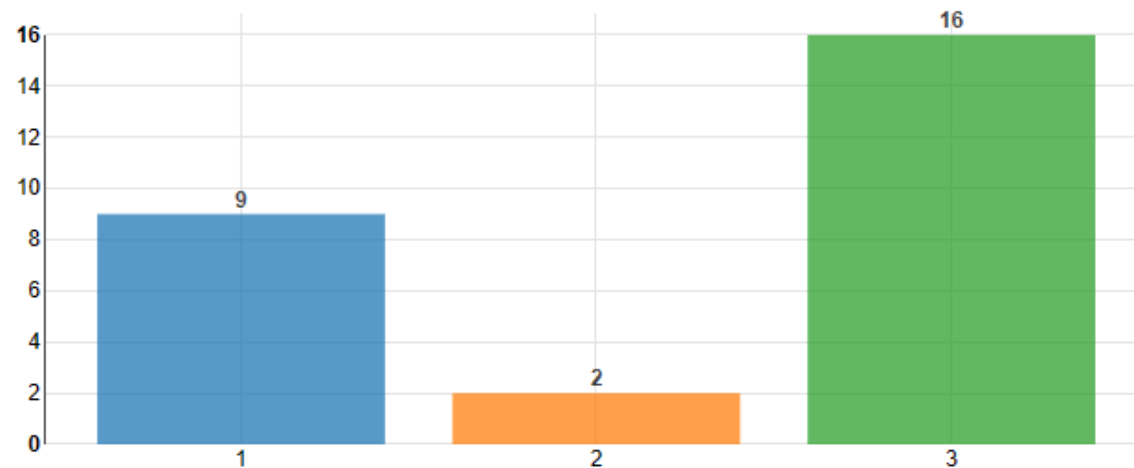


1.1回	6
2.2回	2
3.3回以上	0
4.したことがない	15

くり返し必要と言われている

12. 問10. PartialDNRとは、CPRの一部のみ行うDNR指示のことですが、必要だと思いますか？

28 27

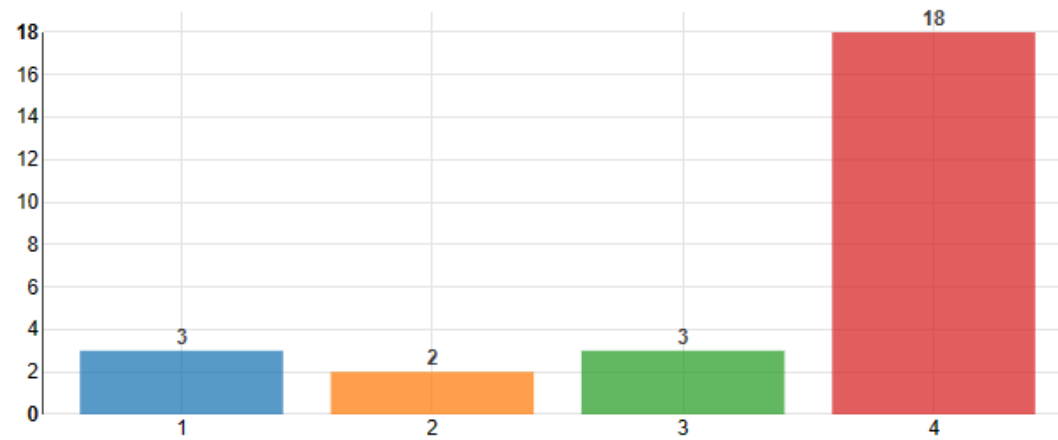


●Partial DNR (DNAR) とは：CPRの内容を“メニュー”（一覧表、リスト）として提示し、気管挿管はしないが胸骨圧迫は行う。昇圧薬は投与するが胸骨圧迫は施行しない。などCPRの一部のみ行うDNR指示を指す用語である。

1.必要	9
2.必要ない	2
3.わからない	16

13. 問11. ACPが困難あるいはできない理由を1つ選んでください

27 26

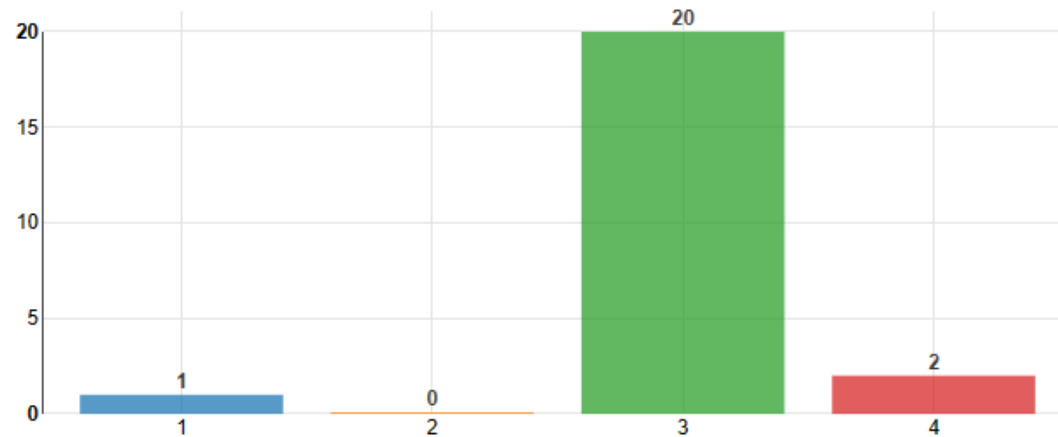


1.時間と手間がかかる	3
2.会議メンバーが集まらない	2
3.利用者からの依頼がない	3
4.スキルがない	18

私の考え：まずはACP推進のためのチーム作りから…
高度なスキルは必要ないと思います

14. 問12. よく「時間がない」といいますが、それら記録、共有の問題などはICTで解決できると思いますか？

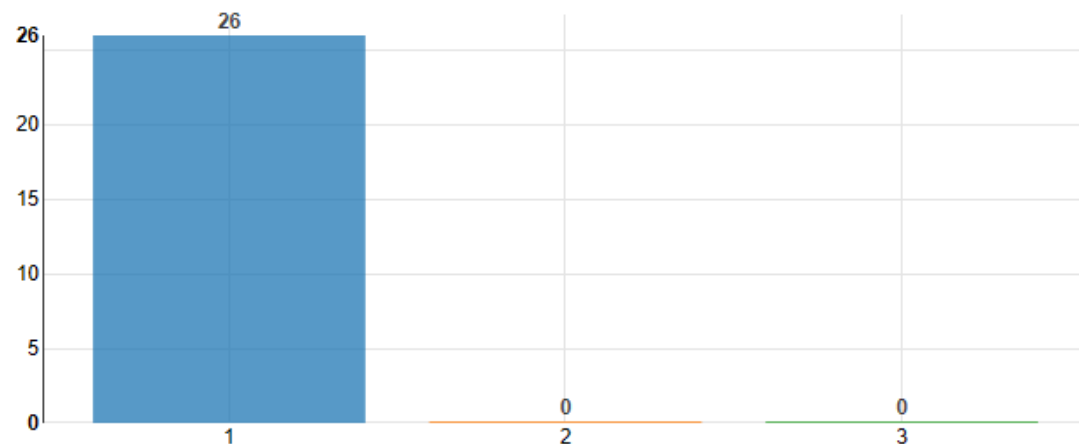
27 23



1.できる	1
2.できない	0
3.ある程度はできる	20
4.考えたことがない	2

15. 問13. ACPに多職種チームが必要だといわれていますが、介護職も必要だと思いますか？

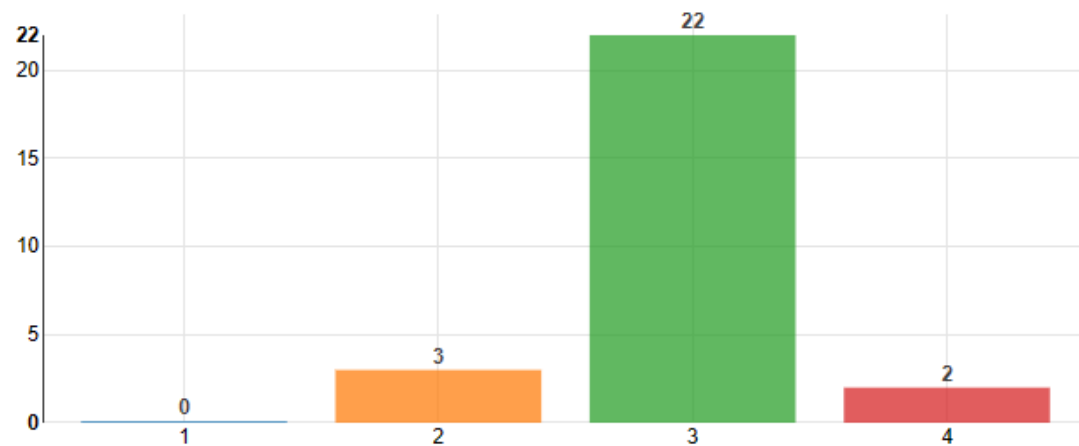
27 26



1.必要	26
2.必要ない	0
3.場面による	0

16. 問14. ACP（人生会議）の進行は医師がすべきだと思いますか？

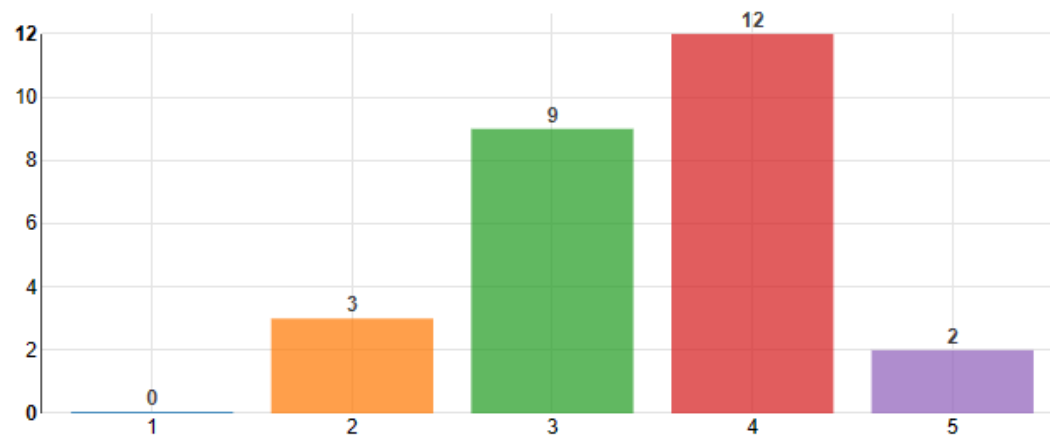
27 27



1.はい	0
2.いいえ	3
3.ある程度訓練を受けたスタッフがすべき	22
4.だれでもよい	2

17. 問15. あなたは、仕事に「年齢」に触れる機会があると思います。一般的に「年ですね」の「年」は何歳くらいだと思いますか？

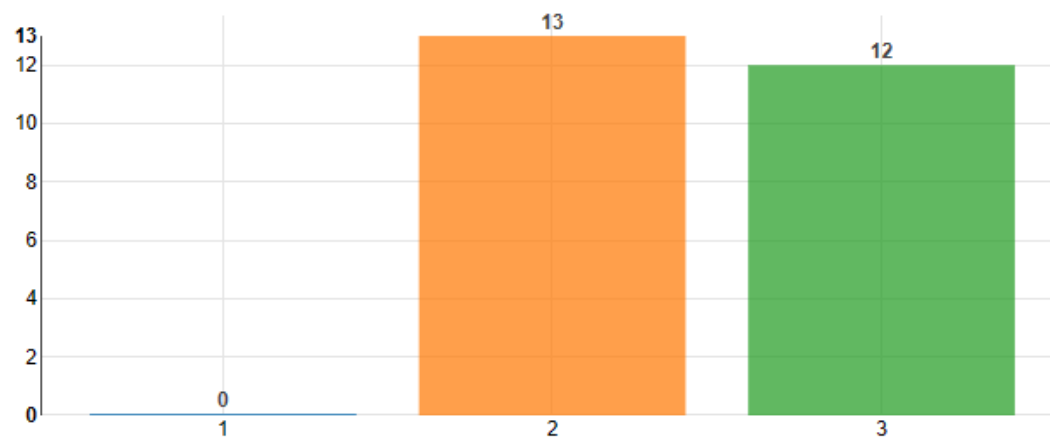
27 26



1.75歳未満	0
2.75歳～79歳	3
3.80歳～84歳	9
4.85歳～89歳	12
5.90歳以上	2

18. 問16. 患者、利用者の「年だから」という一言に安心しますか？

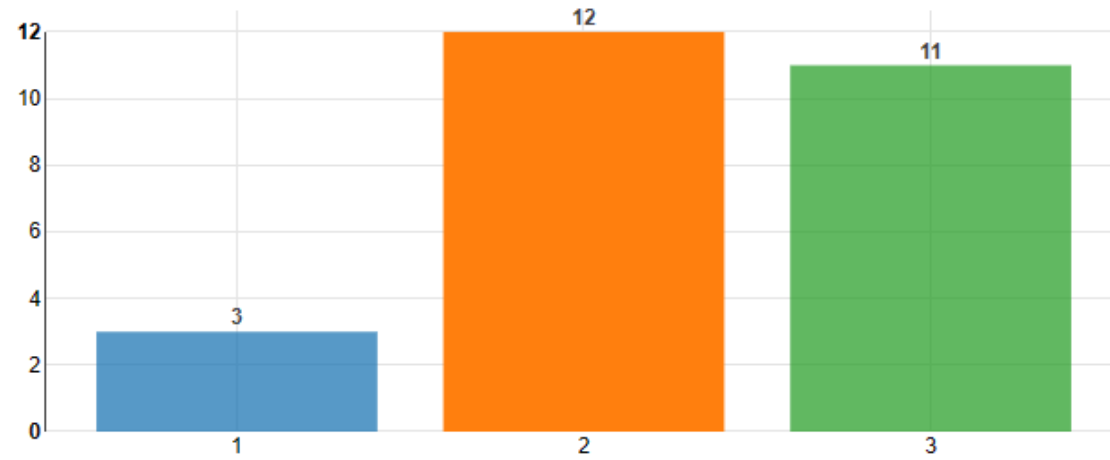
27 25



1.はい	0
2.いいえ	13
3.なんとなく	12

19. 問17. DNARを確認すると、あなたは安心しますか？

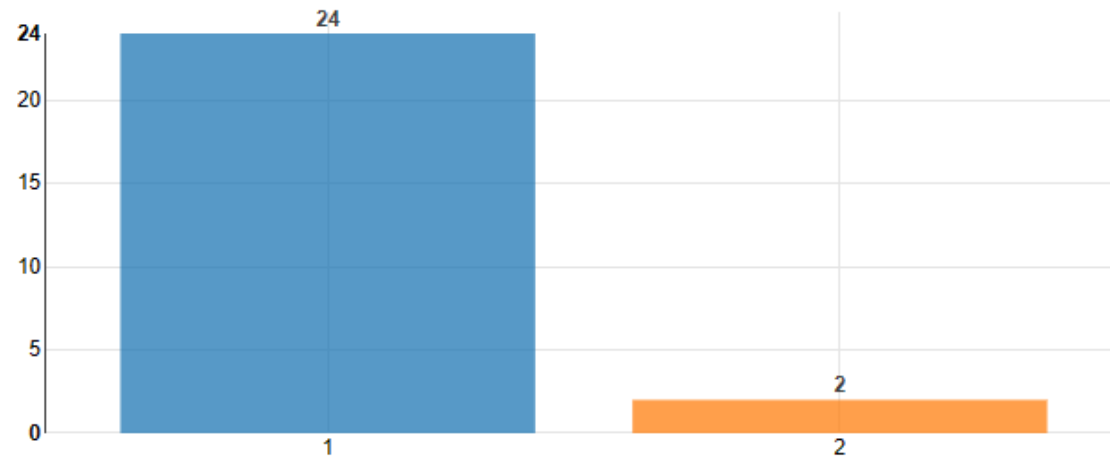
27 26



1.はい	3
2.いいえ	12
3.なんとなく	11

20. 問18. ACPに関して本人の意思を推定する者に予め「本人が指定した友人」は含まれない

27 26

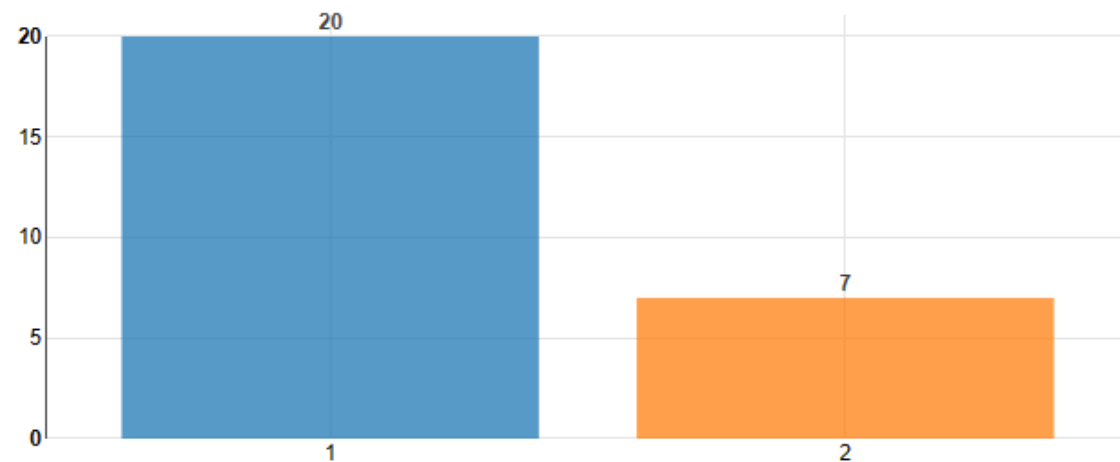


1.含まれる	24
2.含まれない	2

①含まれる が正解

21. 問19. ACPの本質はコミュニケーションだと思いますか？

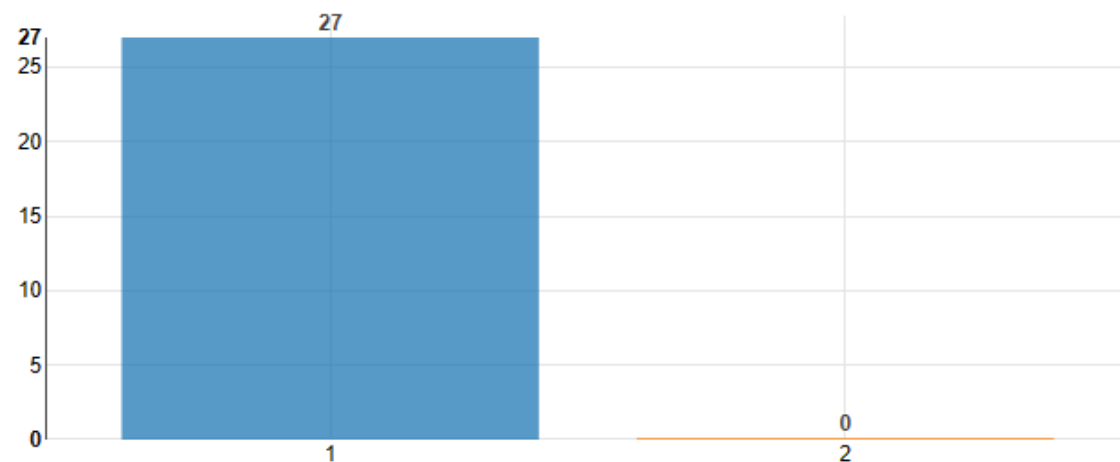
27 27



1.はい	20
2.いいえ	7

22. 問20. ACPの課題として時間と手間がかかることが挙げられる

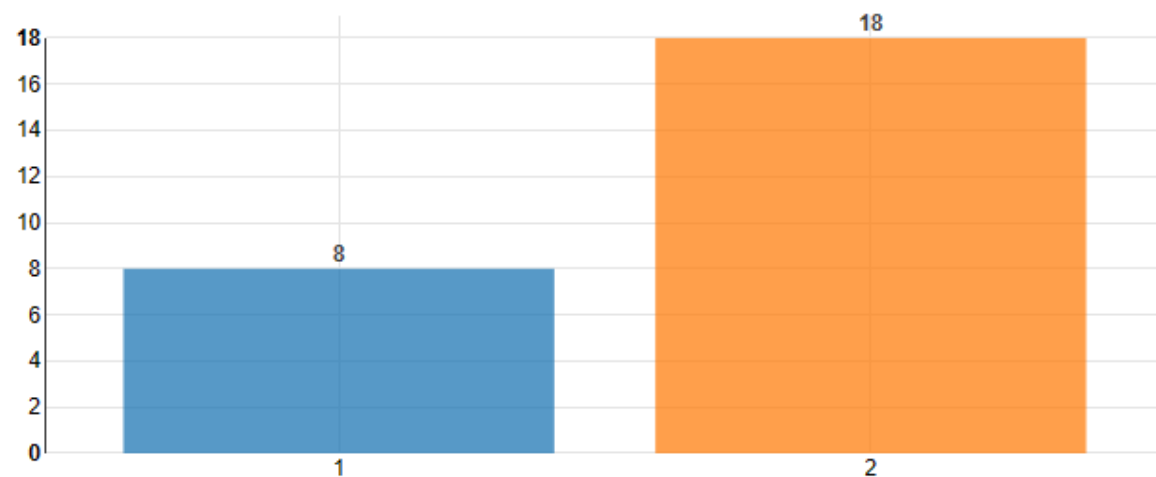
27 27



1.はい	27
2.いいえ	0

23. 問21. 「心不全手帳」を知っていますか？

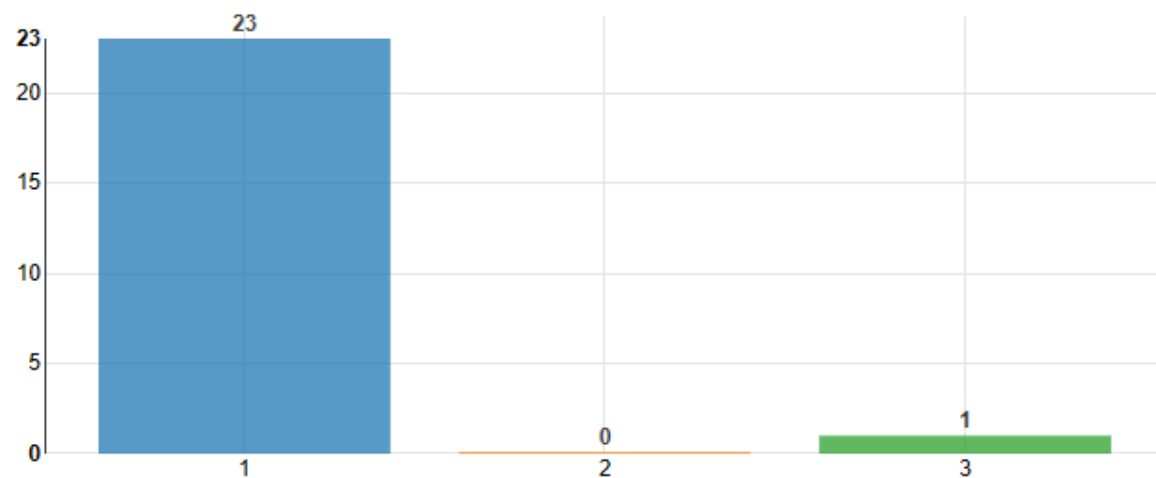
27 26



1.はい	8
2.いいえ	18

24. 問22. 心不全患者にACPは必要？

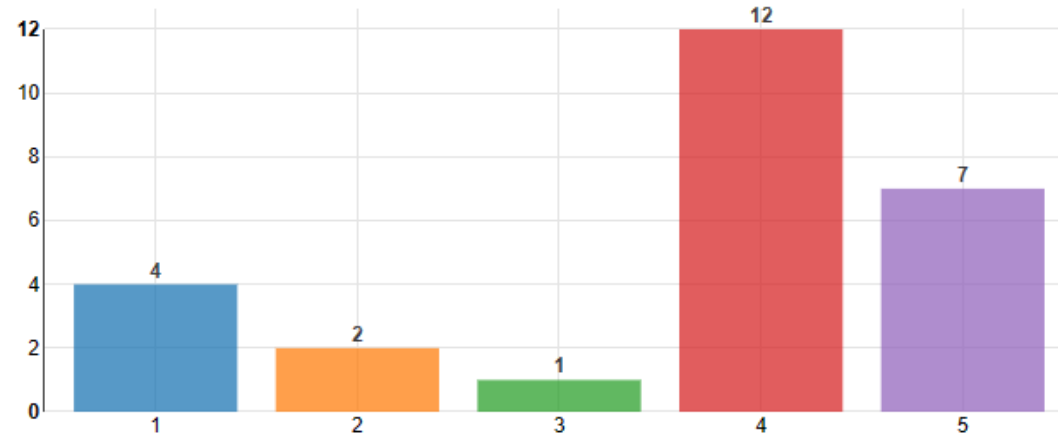
27 24



1.はい	23
2.いいえ	0
3.わからない	1

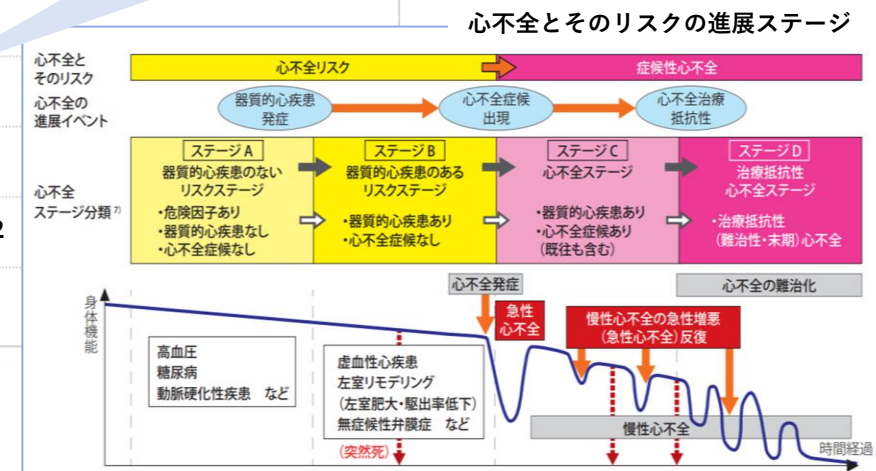
25. 問23. 心不全のACPを開始する時期、きっかけは？

27 26



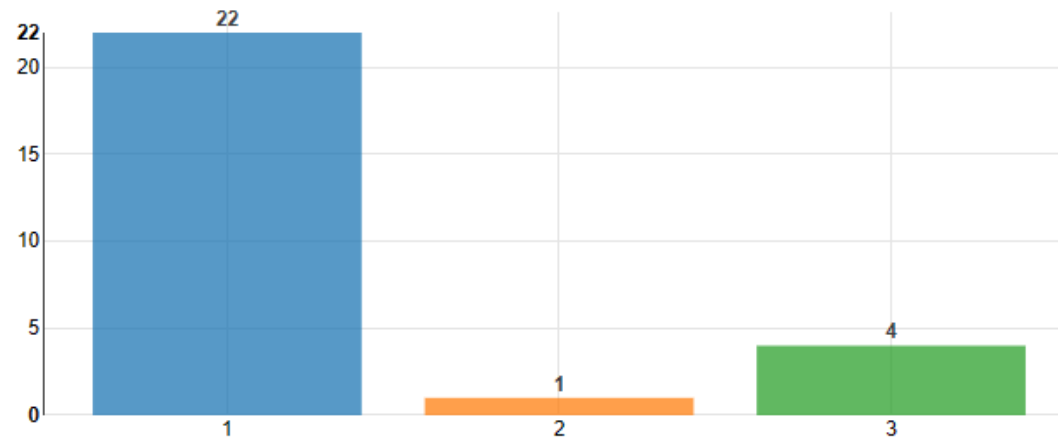
- 1.Bステージ 4
- 2.Cステージ 2
- 3.Dステージ 1
- 4.いつでもいい 12
- 5.わからない 7

Cステージから始める
(狭義のACP)



26. 問24. 心不全患者に対するACPはQOL改善やターミナル・ケアの満足度向上に繋がりますか？

27 27

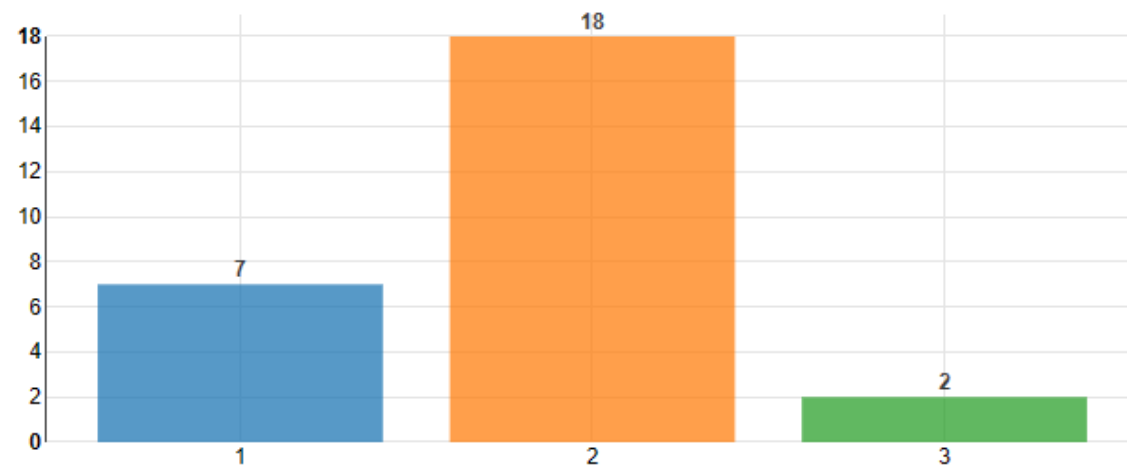


- 1.はい 22
- 2.いいえ 1
- 3.わからない 4

患者・利用者だけでなく職員にとっての満足度向上につながるのでは…

27. 問25. 緩和ケアの開始はACPの実施と同時に開始すべきである

27 27

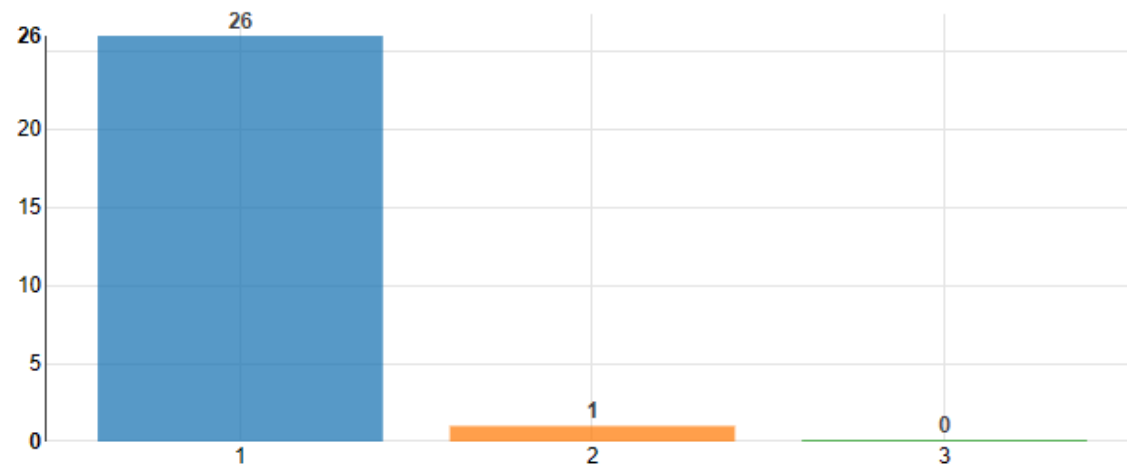


1.はい	7
2.いいえ	18
3.わからない	2

基本的には同時に…
重要なきっかけのタイミングです

28. 問26. がん・認知症・慢性心不全、ACPをしやすいのは？

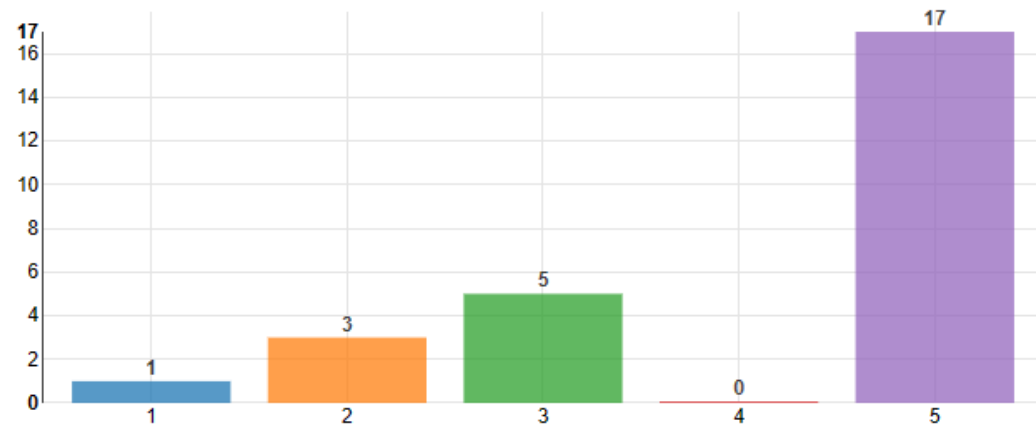
27 27



1.がん	26
2.認知症	1
3.慢性心不全	0

29. 問27. 心不全のACP、緩和ケアを開始する場面としてはどこが適当だと思いますか？

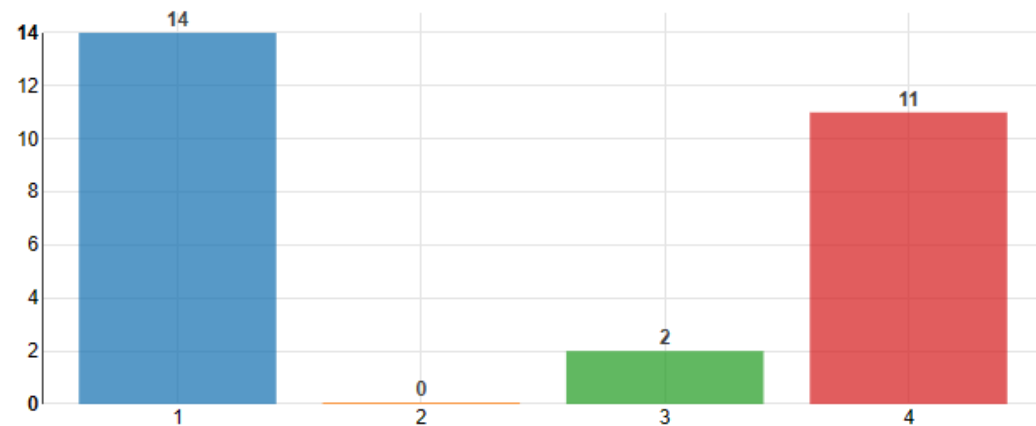
27 26



1.外来	1
2.入院時	3
3.在宅	5
4.老健施設	0
5.どこでもよい	17

30. 問28. 心不全もがんと同様にさまざまな苦痛があります。オピオイドを使ってもいいと思いますか？

27 27

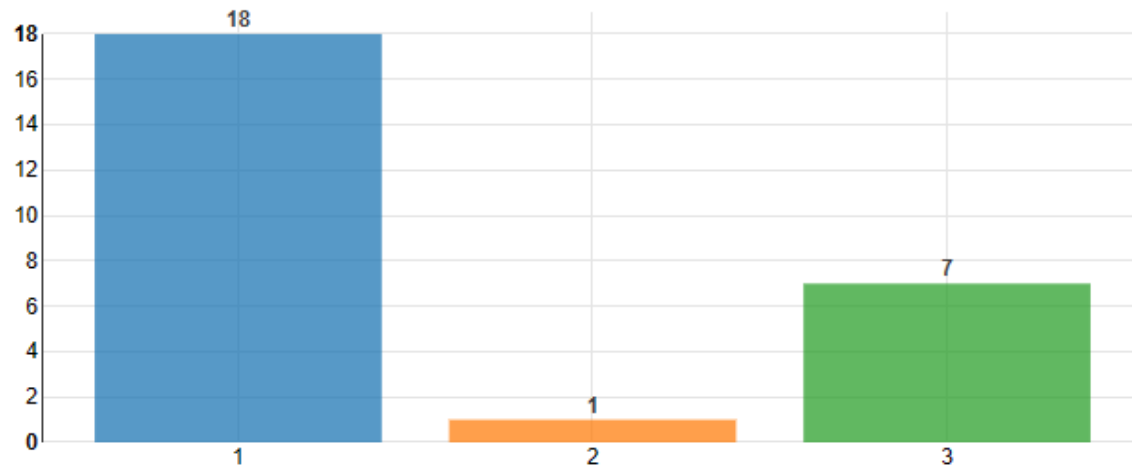


1.使ってもいい	14
2.使わない方がいい	0
3.適応外と思う	2
4.限られるのでは	11

使うように推奨されています

31. 問29. 一般的な心不全の定義「心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です」正しい？

27 26

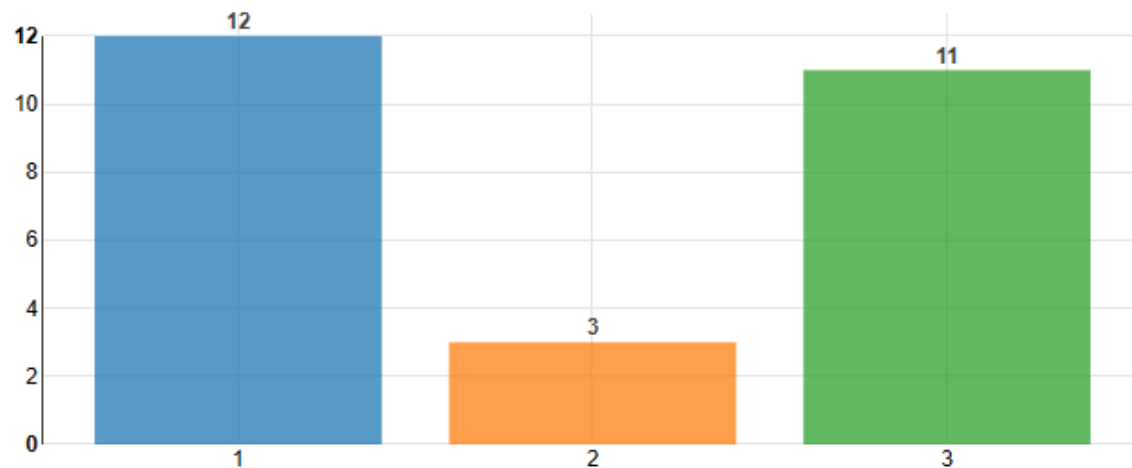


1.正しい	18
2.間違っている	1
3.わからない	7

①正しい が正解

32. 問30. 1年以内に再入院を経験する心不全患者の割合は50%を越えている

27 26

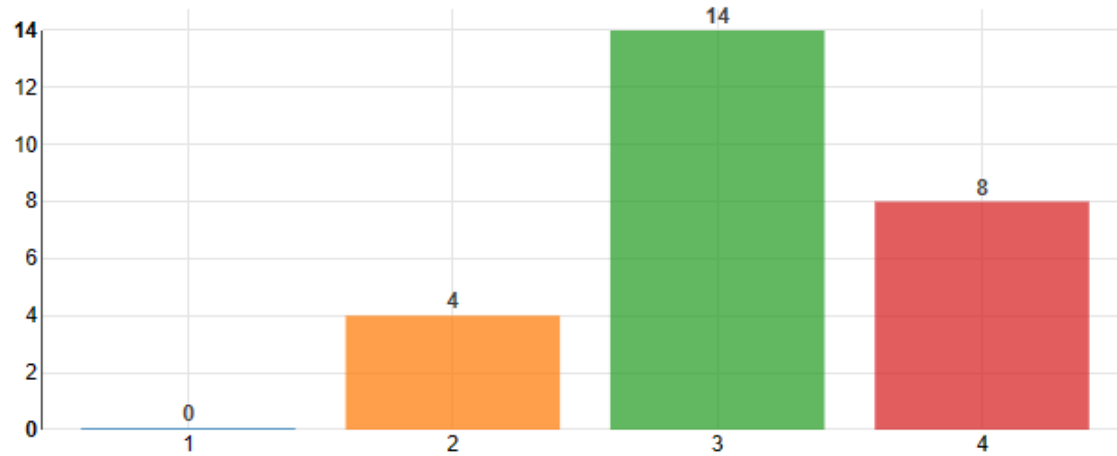


1.正しい	12
2.間違っている	3
3.わからない	11

②間違っている が正解
40%～45%と言われている

33. 問31. 老健施設入所者に心不全（慢性心不全の増悪等）が生じた施設の割合は？

27 26

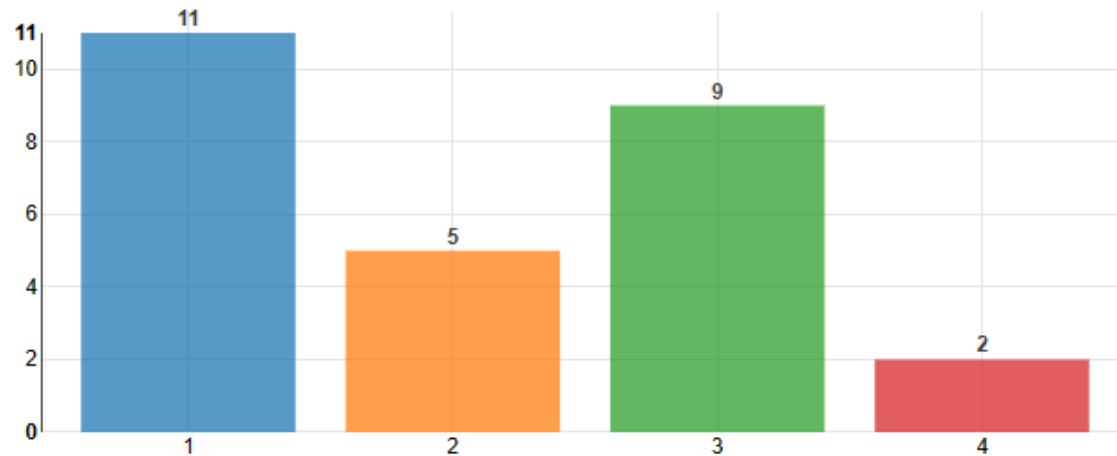


1.10%～19%	0
2.20%～29%	4
3.30%～39%	14
4.40%～49%	8

厚生労働省2023年4月～6月の調査結果より
④40%～49%が正解 41.2%

34. 問32. 心不全の発症後、医療機関への転院の有無は？

27 27



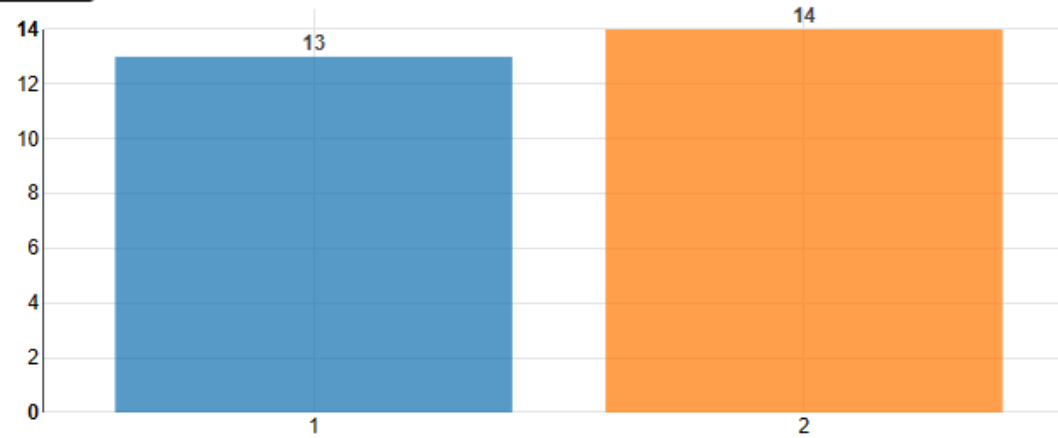
1.40%～49%	11
2.50%～59%	5
3.60%～69%	9
4.70%～79%	2

厚生労働省2023年4月～6月の調査結果より
④70%～79%が正解 71.0%

35. 問33. 緩和ケアの定義「緩和ケアとは、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで苦痛を予防し和らげること
で、患者とその家族のQOLを向上させるアプローチはACP人生会議で行う。」正しい？

27 27

設問表示人数



1.正しい

13

2.間違っている

14

WHO2022より
①正しい が正解

36. 何か感想を一言お願いします！

 29  24

コメント内容

とても難しいと感じました。

ACPに関しての知識がないなぁと思います。

まだまだ実際の取り組みは進んでいないんだなぁと感じました

心不全に対する認識がそれぞれ違うのでその中で多職種でACP会議を行うのは簡単ではないなと思いました。

知らない事だらけでした。勉強しなくてはと思いました。

大変勉強になりました

自分自身がACPを詳しく理解出来ていないため、正しいか正しくないかの判断がとても難しかった

老健でも人生会議が当たり前になるといいと思います

ACP難しいです

まだ参加したことがなく、具体的なイメージと実際の差異がどのくらいあるのかも想像ができません。

今日はありがとうございます。

ACPとICは同じで良いのか不安があります。アンケート内容の正確があるのか気になります。

ACPがだいぶ普及して来ているがなかなか実施まで行けてないのが残念です。

ACPの意味や意義を医者と共有しないと進まないのではないかと思います。

36. 何か感想を一言お願いします！



29



24

コメント内容

高齢者の心不全についてまだまだ知られていないことがあると感じた。例えば、手帳のことなど…

この先回復が困難だなというタイミングで話を行なっていたが、もう少し早期から話をしていくべきだと感じた。当たり前
にACPが行えていたらいいなと思いました。

ACPよく聞きますが、質問にもあったように、スキルがありません。また、発言に不安もあります。

ACPなど行い、家族や本人を尊重しながら、しっかり関わりたい。

質問されたことについて、わからないことが多くあり、勉強不足を痛感しました。自分自身がしっかりとした考えを持って
おくためにも改めて学びたい！と思いました。

慢性心不全の利用者が増えて、老健での対応がどこまでできるのか不安です。協会でも研修会を企画して欲しい。

ACPについて、まだまだ理解不足であると感じました。ACPという言葉だけが先に出てしまっています。きちんと深く理解
した上で、ターミナルケアを行っていきたいと思います。ありがとうございました。

利用者（患者）、家族の意向を汲み取り、できる限り施設として、多職種でターミナルケアが出来る様にして行きたいと思
います。

ACPに関して、一般的にも認識が深まればと思います。

ACPを行うことで、家族、本人にとっての満足度が少しでも満たされたらいいなと思います。

ACPについていろいろとわからないことが多いです。本人が望む最期の生活、家族と一緒に段階を経ながら1日1日を送って
いく…最近身寄りのない方への支援も多く、特に支援の困難さも感じています。ACPというツールは大切だと思いました。